

平成 29 年度伴走型小規模事業者支援推進事業の実施状況

◆経営発達支援計画に対して、平成 29 年度伴走型小規模事業者支援推進事業を実施した協議会委員の評価は、下記のとおりです。

項 目		評 価			
I. 経営発達支援事業の内容		B			
1. 地域の経済動向調査に関すること		27A	1B	4C	D
2. 経営状況の分析に関すること		14A	3B	8C	7D
3. 事業計画の策定支援に関すること		29A	B	3C	D
4. 事業計画策定後の実施支援に関すること		14A	2B	16C	D
5. 需要動向調査に関すること		A	1B	10C	21D
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること		31A	2B	2C	13D
II. 地域経済の活性化に資する取り組み		C			
イ. 域内需要に資する事業 (1) 村内中心商店街のイベント実施による域内需要の拡大		A	1B	3C	20D
ロ. 域外需要に関する販路開拓の実施 (1) 商談会や展示会及び物産展等への積極的出店の促進		11A	B	1C	4D
ハ. 情報提供とネット販売の促進 (1) 本会ホームページ更新と販路開拓に繋げる利用促進		A	B	6C	10D
III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取り組み		B			
1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること		8A	B	C	D
2. 経営指導員等の資質向上等に関すること		8A	B	C	D
3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること		4A	3B	1C	D

◆今年度の事業全体の委員のコメント

- ・事業成果は出来るだけ数値で見える化した方が良い。成果は、個社の実績や成果を記載した方が良い。
- ・伴走型補助金が付いた事業とつかない事業の実施状況の差が大きく今後の課題である。
- ・販路開拓は、平成 30 年度更なる期待ができる。
- ・一部取り組みなかった項目があるものの、地域の経済動向調査、経営状況の分析、事業計画の策定支援、策定後の実施支援、新たな需要の開拓等について、取り組んだ結果、一定の成果が得られている。
- ・委員として初年度であったため研鑽していく必要があると感じた。一緒に取り組んでいきたい。

◆平成 30 年度に向けた改善点

- ・行政と連携して、ふるさと普代会の案内にアンケートを同封させてもらうことで、費用をかけずに消費者動向調査をできないか。
- ・外部の統計データ等の基礎データの収集は臨時職員に定期的に行ってもらおう等、正職員の負担軽減も検討した方が良い。
- ・計画内容に対して、目標（数値）が設定されていないものがあることから、分かりやすい目標値を追加して、取り組むことを検討する必要がある。
- ・経営分析をはじめ支援にあたって外部専門家の力を借りること、地域経済の活性化など行政や関係団体との連携を図り事業を進める必要がある。

◆普代商工会経営発達推進支援協議会の開催（商工会代表を委員長に8名で構成）

第1回 日時：平成29年7月10日（月） 委員7名出席

内容：協議会の設置と委嘱、経営発達支援事業内容、今年度実施する伴走型支援内容等

第2回 日時：平成30年2月23日（金） 委員6名出席

内容：経営発達支援計画について（実施状況、成果の評価・見直し）

伴走型小規模事業推進事業の実施状況、来年度に向けた取組みについて

※平成29年度の事業評価は、平成30年5月1日書面評価を実施した。結果は表紙に記載。

◆商品・役務の需要動向 地域の経済動向等に関する調査・分析

（1）地域経済動向調査

①村内中小・小規模事業者の経営課題に関するヒアリングを実施（7月・11月、4日間）20社

②金融機関ヒアリング調査（10/11）東北銀行久慈支店、岩手銀行野田支店、岩手県信漁連普代支店

（2）需要動向調査

①普代・野田村・田野畑村3商工会商談会（11/29）を開催 4社が商談相談

併せて、「いわて銀河プラザ」売れ筋、消費者動向及び需要動向調査を実施。

②外部データ活用による需要動向の補完

関係機関の調査冊子等（小規模事業者白書、「岩手経済研究」（岩手経済研究所）、「調査月報」日本政策金融公庫等

③本村の特産品「すき昆布」の新たな商品づくりに向け事業者提供するアンケート調査を実施。

「すきっす！すき昆布ふだいフェア」イオンモール盛岡南（2/17-18）集計結果は今後事業者提供予定

◆セミナー・講習会等の開催

①創業を考えている方への個別相談会（個別相談会） 創業意識醸成チラシ全戸配布

日時 平成29年10月7日（土）午前10時～午後4時

内容 専門家マネジメントストーリー代表 阿部敏雄氏 創業相談と事業計画を策定、出席者2名、

成果 本村出身者の創業支援「さんりくチャレンジ事業」の計画策定支援、採択1件

②販路開拓のためのIT活用セミナー（集団セミナー）

日時 平成29年11月16日（木）18時～21時

内容 専門家を派遣 ジャイブクリエイティブ代表 櫻井恒平氏

成果 出席者 8名 各社のIT知識の習得に繋がる。

③事業継承・創業 税理士による個別相談（個別相談会）

日時 平成29年12月15日（金）13時～17時

内容 小笠原税理士事務所 小笠原広幸氏 出席者 5名

成果 創業1件、事業継承1件

④経営計画策定セミナー（個別相談会）

日時 平成29年12月23日（土）10時～16時

内容 マネジメントストーリー代表 阿部敏雄氏 出席者 1名 事業計画策定

成果 経営革新計画 採択1件



IT活用セミナー実施風景

⑤経営計画策定セミナー（集団セミナー）

日 時 平成30年2月20日（火）13時30分～15時30分
講 師 マネジメントストーリー代表 阿部敏雄氏
成 果 今後の事業に役立つ経営計画の重要性と自計化を促した。
出席者 5名 事業計画事例紹介等

⑥経営計画策定セミナー（個別相談会）

日 時 平成30年2月20日（火）12時30分～13時30分・15時30分～17時30分
講 師 マネジメントストーリー代表 阿部敏雄氏 出席者2名 創業者計画策定・事業計画策定
成 果 さんりくチャレンジ事業の精算支援果たす・新たな事業の可能性等を示唆事業意欲拡大

◆需要開拓支援（展示会・商談会等）

①新たな需要開拓に係る個別商談会

日 時 平成29年8月26日（土）15時～15時45分、
内 容 新たな需要を求め、盛岡飲食店に商談に同行支援 出席者 1社
成 果 取り扱っている素材を食材使用にとアピール、2月には試食会も実現。
※平成30年2月17日、同社の新商品開発について小野寺恵氏（商品開発プロデューサー）より支援を得た。

②いわて食の商談会 in 東京（主催：岩手県、岩手県産㈱）

日 時 平成29年11月9日（木）8時～16時40分
内 容 商談会の事前準備と出展者に同行して、商品の商談サポートを実施。 出席者1社
成 果 FCPシート制作や次回の商談会の成約に向け、意欲の高揚が図られている。

③商工会合同商談会（普代・田野畑・野田）開催

日 時 平成29年11月29日（水）13時～17時
内 容 岩手県産㈱バイヤー2名を派遣して、商談と加工商品のアドバイスをを行った。
成 果 出席者8社・13名（商工会職員含む） 普代4社の商談を実施。加工商品のヒントも得た。

④すきっす！すき昆布 ふだいフェア実施

日 時 平成30年2月17日（日）13時～17時、 2月18日（土）10時～17時
内 容 イオンモール盛岡南1階センターコートにおいて、特産品「すき昆布」をキーワードに事業者の新たな販路拡大と需要開拓を目的に、展示即売会を実施。各社の趣向を凝らした商品販売。各社が試食及びテストマーケティングを実施。1.5日売上43万円、
協 力 普代村・普代村観光協会
「すっきいとえんぞー」の応援出演。すき昆布の新しい料理の提案、レシピ配付。「NEW 食べる昆布の料理教室」
講師：小野寺恵氏



広報他 FM 岩手、レシピ付きチラシ作成、販促ソング、すき昆布のアンケート実施、テレビ岩手出演。